



御嵩町国指定重要文化財 願興寺(蟹薬師)本堂をみんなの力で守ろう!

御嵩町教育委員会 生涯学習課

◆民衆の力によって再建された願興寺(蟹薬師)

御嵩町国指定重要文化財願興寺本堂は、弘仁6年(815)、伝教大師最澄が東国へ向かう途中、病に苦しむ人々の姿に心を傷め、自ら薬師如来像を彫って安置したのがそのはじまりといわれています。以来1200年以上にわたり、「蟹薬師」「お薬師様」と呼ばれ、地域の人々に愛されてきた親しみ深い古刹です。

その歴史を振り返ると、これまで数度の戦火による焼失などにより存亡の危機にあいながらも、現在の本堂はおよそ430年前に、地域の人々が「柱1本」「板1枚」を持ち寄って再興したといわれ、我々の祖先が命を懸けて守り抜いてきた貴重な文化遺産といえます。民衆の力で再建されたことに価値があるということで、昭和61年5月24日に国の重要文化財に指定されました。



▲願興寺本堂

◆みたくの宝 願興寺(蟹薬師)本堂を みんなの力で守ろう!

願興寺本堂は、屋根、柱、床、基礎など、あらゆる箇所が長年の風雪に耐えてきたことによる風化などにより老朽化し、このままでは我々の代で消失するやもしれないまさに存亡の危機に直面している状況でした。そのような状況のなか、平成25年7月、文化庁の文化財調査官の現地指導で、願興寺本堂の解体修理の話がでました。それ以降、解体修理の声が高まり、願興寺も「これからも御嵩の宝として次世代に伝えられるよう力を貸して下さい。」とお願いされました。そこで、祖先から脈々と受け継がれてきたこの貴重な歴史的文化遺産を後世へと伝えていくことにより文化の振興に寄与することを目的として、有志により「御嵩町国指定重要文化財願興寺本堂保存会」が発足しました。建立以来約430年、初の全解体修理となる願興寺本堂修理に向け、公の「願興寺本堂修理委員会」と民の「願興寺本堂修理保存会」が力を合わせて取り組み始めました。平成28年に願興寺本堂修理事業の事業計画書を提出(町→県→国)。県教育委員会や文化庁のヒアリングを受け、平成29年に基本設計書作成及び補助金申請を行い、11月に補助金交付が決定されました。施工業者を決め、平成30年から修理工事に着手しています。

願興寺本堂修理委員会

- 顧問 町長
- 委員長 教育長
- 副委員長 白井きし江
- 委員 13名
- 事務局 教育参事、生涯学習課長、文化振興係長、主査等

※国指定重要文化財願興寺本堂の解体、修理等に関し、必要な指導及び助言を得るとともに、必要な事項を審議する。

※願興寺本堂修理保存会の支援を行う。

※指定寄付金やふるさとみたく応援寄附金等の説明及び推進

願興寺本堂修理保存会

- 会長 鍵谷幸男
- 副会長 藤田正樹、林 松美、岩井秀夫、柴田壽雄
- 会計 日江井信幸 (補助、文化振興係)
- 監事 山田儀雄、加藤保郎
- 役員 計18名

※寄付金にご協力いただける方の募集

※4月より寄付金集め

大寺山 願興寺

※天台宗本山比叡山延暦寺

顧問 国会議員、県議会議員、町議会議員

保存会 会員(寄付金にご協力いただける方)

- 願興寺・檀家
- 御嵩町自治会連合会 各自治会
- 御嵩町教育委員 社会教育委員
- 御嵩町青少年育成町民会議
- 御嵩町社会福祉協議会
- 御嵩町文化財保護審議会
- 御嵩町文化協会 徳慶会
- 御嵩町観光協会 徳慶会
- 御嵩町子ども会育成協議会
- 御嵩町薬師祭礼保存会
- みたけスポーツ文化振興部
- 各地区公民館長・主事会
- 御嵩町商工会 工業団地
- 校長会・教頭会 PTA連合会
- 婦人団体協議会 老人会
- 保育園・幼稚園等々
- その他 各組織・団体

国指定重要文化財 願興寺本堂修理保存会

総決起大会

3月17日盛大に開催

平成30年4月1日より
寄付金集めの本格的なスタート!

御嵩町民 全18,444人 2018.2.1現在

◆最高に盛り上がった願興寺本堂修理保存会 総決起大会

平成30年3月17日(土)午後2時より、中公民館にて、願興寺本堂修理保存会の総決起大会を行い、国会議員をはじめ200名を越す皆さんが参加され、たいへん盛り上がりました。ご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

願興寺本堂修理保存会は、「平成30年は、寄附金集めのスタート年として位置付け、全力で1億円の浄財を集めます。よろしくお願ひ申し上げます。」と力強く決意を表明しました。



大会次第

- 1 開会の言葉
- 2 保存会会長挨拶
- 3 町長挨拶
- 4 来賓挨拶 国会議員・県会議員・町会議員
- 5 来賓紹介
- 6 講演
演題「願興寺本堂の国重文指定に関わって」
講師 元岐阜県博物館館長 高橋宏之氏
- 7 願興寺本堂修理について
- 8 決意表明・頑張ろうコール・写真撮影
- 9 閉会の言葉

◆願興寺本堂を守るために、みなさんのご協力をお願いいたします

平成30年より、約9年にも及ぶ願興寺本堂の全解体修理が始まりました。修理には、現段階では総事業費約13億円との試算が出ています。国が85%、県が4%、町が5.5%を補助し、残りの5.5%を願興寺が負担します。願興寺の負担額は1億円ほど見込んでいます。檀家が数軒しかない願興寺では、資金の工面に難渋しています。郷土の宝である文化財の保護・保存にご賛同いただきまして、皆さまのあたたかいご支援を何卒お願い申し上げます。

寄附金にご協力いただける方を募集中 !!

祖先から脈々と受け継がれてきたこの貴重な歴史的文化遺産を後世へと伝えていくためにどうか寄付金や募金にご協力ください。詳しくは下記へご連絡ください。

中山道みたけ館(TEL0574-67-7500)、又は御嵩町教育委員会生涯学習課(0574-67-2111)

氏名	
住所	〒 (- -)
電話番号	

◆本堂解体修理時及び完成後の願興寺活性化基本構想(案)

寄附金を集めて解体修理して終わりではなく、解体修理時も完成後も、御嵩町のために願興寺をどう活性化していくのか みんなで考えよう!!

- ①御嵩町の観光の目玉として 名鉄とのタイアップを
 - ・「名鉄電車に乗って願興寺へ」の取組…解体修理工事の定期的な見学会、完成後の定期的なイベント開催
- ②霊宝殿の国指定重要文化財仏像24軀の日常的な公開を(願興寺との協議で)
 - ・公開日・公開時間を設定し、受付担当も置いた日常的な公開
 - ・願興寺関連グッズ及び朱印の販売、霊宝殿受付での販売
 - ※本堂解体修理後には、願興寺との協議で霊宝殿の改修を(耐震、温度・湿度管理)
- ③児童生徒の願興寺見学の位置づけ
 - ・御嵩町の小中学校生の見学会の実施…特定学年については毎年の行事として位置付ける。
 - ・工事見学、霊宝殿見学。
- ④解体修理完成時の大イベント企画を
 - ・落慶法要、1000人の稚児行列(願興寺との協議で) ・薬師祭礼とのタイアップ
 - ※本堂解体修理後には、薬師祭礼会館の建設(薬師祭礼保存会との協議で)
- ⑤町内、町外へのアピールを強化!
 - ・「保存会だより」での報告…解体修理の近況報告、寄附金の現状報告及び寄附者の公表
 - ・自治会長会との密接な連携…自治会長への呼びかけ、願興寺活性化基本構想の周知、寄附活動協力依頼